

千葉市動物公園で「動物園で浪曲」を開催します！ ～3度目の開催となる今回はシートン動物記「クマ王モナーク」を口演～

千葉市動物公園では、動物や自然に関する文化・芸術・科学を知る・体験する場の提供を推進しています。“動物園で浪曲”は、世界の名作と知られる「シートン動物記」を、明治時代から始まった大衆演芸である浪曲仕立てで体験するイベントです。今回はこれまでの2回の開催で大変好評であったシートン動物記「オオカミ王ロボ」に次ぐ意欲作「クマ王モナーク」をお届けします。

1 日時

3月19日（日）13：30～15：00

2 会場

動物公園内 動物科学館 レクチャールーム

3 出演者

東家 一太郎さん（浪曲師）、東家 美さん（曲師）

※一太郎さんは、平成30年度 文化庁芸術祭 新人賞（大衆芸能文門）を受賞

4 内容

①浪曲チチ講座

浪曲とは？ から、その楽しみ方をお教えします

②浪曲 “一太郎の千葉市動物公園案内～2023年version”

千葉市動物公園を浪曲仕立てでお届けします

③浪曲 “シートン動物記より「クマ王モナーク」”

モナークというグリズリーの波乱の人生を浪曲でお届けします！

5 定員

150名（当日先着順）

6 料金

無料（高校生以上は要入園料）

※入園料＝高校生以上700円



東家一太郎さんによる「動物園で浪曲」

<参考>

1 浪曲

明治時代初期から始まった演芸の一つで「浪花節」(なにわぶし)とも言い、三味線を伴奏に用いて一つの物語を節(ふし)と啖呵(タンカ・台詞)で演じる語り芸能。

親子の愛、師への尊敬、忠義、礼節など次世代に伝えたい「誇るべき日本」の姿を肩の張らないスタイルで表現しています。浪曲と当園のコラボは3度目となります。

2 東家 一太郎さん、東家 美さん

夫の一太郎さんが浪曲師、妻の美さんが曲師という浪曲コンビは本組が元祖です。

浪曲の新しい魅力を追い求め、一太郎さんは平成30年度(第73回)文化庁芸術祭新人賞(大衆芸能文門)を受賞し、幅広い世代に支持されています。

3 シートン動物記「クマ王モナーク」

アメリカの博物学者シートンが、動物たちのありのままの姿を書き上げた動物物語です。「クマ王モナーク」は、カリフォルニア州最後のグリズリーの波乱の人生を描いた物語です。

4 当園でのご口演

2019年5月25日と同年7月2日に「シートン動物記～オオカミ王ロボ」をご口演頂き、定員を上回る大盛況でした。

今回は「シートン動物記」から、違う演目をご口演頂きます。